

報告日:令和元年 5 月 30 日

報告者:理事長 長尾 博子

《平成 30 年度》 社会福祉法人白ゆり会

事業報告書

I. (事業の理念)

多様な福祉サービスが利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊重を保持しつつ心身ともに健やかに育成されるよう支援することを理念とする。

II. (事業の目的)

この社会福祉法人(以下「法人」という。)は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

III. (事業内容)

1. 【第二種社会福祉事業】

- (イ) 放課後児童健全育成事業の経営
- (ロ) 一時預かり事業の経営
- (ハ) 地域子育て支援拠点事業の経営
- (ニ) 保育所の経営
- (ホ) 障害児通所支援事業(児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・保育所等訪問支援事業)の経営
- (ヘ) 障害児相談支援事業の経営
- (ト) 幼保連携型認定こども園の経営
- (チ) 小規模保育事業の経営

2. 【認定こども園白ゆりの丘 開園】

岡山市の公募事業で休園中の馬屋上幼稚園の民営化(幼保連携こども園)事業に選定され平成 31 年 4 月開園する。

3. 【小規模保育園キッズガーデン 開園】

小規模保育園キッズガーデンを平成 31 年 4 月 1 日に開所する。

IV. (経営の原則)

この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。この法人は、地域社会に貢献する取組として、一人親世帯、子育て世帯、発達障害児、経済的に困窮する者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

V. (各施設の事業報告)

1. 各施設の事業報告書

- 幼保連携型認定こども園白ゆり
- 第二白ゆり保育園
- 岡山白ゆり発達支援センター
- 白ゆり小規模保育園
- インクルーシブ教室白ゆり

VI. 理事会の開催数×4回

*第1回目・・・平成30年5月28日

(主な議決事項)

1. 監事監査報告
2. 平成29年度事業報告及び決算報告
3. 第二白ゆり保育園の人件費積立資産200万円の取り崩しについて

*第2回目・・・平成30年9月3日

(主な議決事項)

1. 馬屋上幼稚園民営化事業の入札について
2. 馬屋上幼稚園園舎買取について
3. 小規模保育園新規開設について
4. 理事長の職務の執行の状況報告について
5. 諸規定の変更について

*第3回目・・・平成31年2月5日

(主な議決事項)

1. 第1次補正予算の審議について
2. 各施設の現況報告について

3. 新園の整備進捗状況について
4. 職員採用状況について

*第4回目…平成31年3月28日

(主な議決事項)

1. 第2次補正予算の審議について
2. 平成31年度の予算案及び事業計画
3. 平成31年度の各種規定の変更
4. 理事長の職務の執行の状況報告について
5. 平成31年度の定年延長について
6. 手当の支給及び昇給の承認について

VII. 評議員会の開催数×1回

*第1回目…平成30年6月12日

(主な議決事項)

1. 監事監査報告
2. 平成30年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認

VIII. 平成30年度法人運営の総括(理事長)

平成30年度の本法人の運営状況について、年間を通じて各施設とも大きな事故等もなく安定した運営ができていた。また、岡山市が抱える待機児童問題にも取り組み、馬屋上幼稚園の民営化事業にも着手することができ平成31年4月1日に無事開園の運びとなった。今後の課題としては職員の離職防止や採用を重点的に行なうように努力する。

IX. 監事監査報告(令和元年5月30日)

事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認められた。理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。また、計算関係書類及び財産目録の監査結果についても、計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認められた。尚、平成30年度の決算に際して社会福祉充実残額は発生しないことも確認した。